

共同研究グループ活動報告（2024 年度）

〈身体〉とジェンダー

1. 講演会・研究会の開催

・2023 年度第 2 回研究会

（2023 年度になるが、昨年度の活動報告に組み入れられなかったもので、ここに報告する）

開催日：2024 年 3 月 29 日

会場：オンライン&対面（みなとみらいキャンパス 17017）

2024 年 2 月に人文学研究叢書第 50 巻として刊行された『動物 x ジェンダー——マルチスピーシーズ物語の森へ』（村井まや子・熊谷謙介編著、青弓社）を記念して、研究会メンバーで書評会を行った。まず論稿執筆者が各自の研究についてコメントを寄せたあと、執筆者でなかったメンバーも含めて、今回の論集の意義や課題について議論し、今後、本研究グループが向かう方針を検討した。

・2024 年度第 1 回研究会

開催日：2024 年 7 月 18 日

会場：オンライン&対面（みなとみらいキャンパス 17014）

発表者（所属）：

ー富塚亮平（外国語学部英語英文学科）

「見ることから見られることへーイシャナ・ナイト・シャマラン『ザ・ウォッチャーズ』（2024）における眼差しとジェンダー」

イシャナ・ナイト・シャマラン『ザ・ウォッチャーズ』について、父娘関係から、異教的な妖精とのマルチスピーシーズ的な観点、そして現代の監視社会にもかかわる視線とジェンダー、主体の問題まで提示された。その後の議論では、英米圏へのエリート・インド系移民に特徴的とされる能力主義的な面、民族差別をパスするような姿勢と、ある種「浅い」、表層的な物語叙述との関連など、多様な視点が示唆された。

ー江崎聡子：（聖学院大学人文学部欧米文化学科）

「SDGs×ジェンダー：アートとジェンダー」

ジェンダーとイメージにかかわる学生向けの入門書の企画について紹介があった後、メンバーとどのような要素や参考文献が必要かなど討議を行った。

・2024 年度第 2 回研究会は 2025 年 2 月 25 日に行う予定である。

2. シンポジウムの開催

なし

3. 活動内容

〈身体〉とジェンダー研究会は『動物 x ジェンダー—マルチスピーシーズ物語の森へ』を2024年2月に出版したが、ジェンダーをテーマにした次なる叢書の出版を目指して、学内・学外から多くの新メンバーを集め研究会を組織している。本年度はこの刊行物に対する紹介活動に従事するとともに（関連学会 web 雑誌での座談会等）、その後続く企画を検討していくにあたって、まずは新規メンバーの研究発表会を行った。

2024年7月18日に行われた2024年度第1回研究会では、冨塚亮平、江崎聡子による発表が行われた（内容については上記参照）。また、第2回研究会を2025年2月25日に行う予定である。

（文責：熊谷謙介）